

令和 5 年 3 月 7 日
不動産・建設経済局参事官**「第 1 回 地域価値を共創する不動産業アワード」の受賞者が決定！**
～地域価値を共創する不動産業者等を表彰します～

国土交通省が不動産業者・不動産管理業者等の取組を対象に表彰する初の試みとして、昨年秋に「地域価値を共創する不動産業アワード（不動産・建設経済局長賞）」を創設し公募したところ、97件の応募をいただきました。

選定委員会（委員長：中城康彦 明海大学不動産学部教授）における厳正なる審査の結果、アワード大賞を創設するとともに、各受賞者を決定いたしました。

3月14日（火）に表彰式を行います。

1. 受賞者（審査結果は別紙のとおり）

＜アワード大賞＞	1件
＜低未利用不動産の有効活用部門 優秀賞＞	1件
＜中心市街地・農村活性化部門 優秀賞＞	1件
＜居住・生活支援部門 優秀賞＞	1件
＜安全・安心部門 優秀賞＞	1件
＜イノベーション部門 優秀賞＞	1件
＜担い手育成部門 優秀賞＞	1件
＜特別賞＞	3件

2. 表彰式

(1) 日時：令和5年3月14日（火）14：00～

(2) 場所：国土交通省 中央合同庁舎3号館 8階特別会議室

(3) 次第：・受賞者表彰

・不動産・建設経済局長 挨拶

・選定委員会 中城委員長 挨拶 ほか

3. 取材等について

○表彰式の撮影を希望される報道関係者の方に限り、3月9日（木）12時までに、下記申込フォームにアクセスいただき、必要事項をご記載ください。

【URL】 <https://seminar-app.com/cer-0000000122>

（運営：株式会社船井総研デジタル（国土交通省運営委託先事業者））

○写真撮影にあたっては、進行の妨げにならないようお願いいたします。

○公務等の都合により、開始時間等が変更となる可能性があります。

○各社1名とし、マスクの着用は任意としますが、風邪等の症状がある場合には、参加を控えていただきますようお願いいたします。

○当日は13時50分に国土交通省3号館8階特別会議室前にお集まりください。

【問い合わせ先】

国土交通省不動産・建設経済局参事官付 片田・大藪

TEL:【代表】03-5253-8111(内線 25137・25133) 【直通】03-5253-8288

(別紙)

第1回

地域価値を共創する不動産業アワード 審査結果

令和5年3月

国土交通省不動産・建設経済局参事官付

【目次】

1. 総評.....	2
2. 受賞者（不動産・建設経済局長賞）	3
(1) アワード大賞.....	3
(2) 低未利用不動産の有効活用部門 優秀賞	4
(3) 中心市街地・農村活性化部門 優秀賞	5
(4) 居住・生活支援部門 優秀賞.....	6
(5) 安全・安心部門 優秀賞	7
(6) イノベーション部門 優秀賞.....	8
(7) 担い手育成部門 優秀賞	9
(8) 特別賞.....	10

1. 総評

コロナ禍を通して人々の生活様式が大きく変化する中で、居心地が良い日常の「くらし」を実現するには、各地域に住まい、集う「ひと」に着目し、「くらし」に関わるあらゆる産業分野や地域コミュニティデザインの担い手と連携しながら、地域の新たな価値や可能性を創造していくことが求められています。

そこで、場の提供者であり、社会に必要不可欠なクリエイティブ産業である不動産業者等が、地方公共団体や住民、他業種等の関係者と共に地域づくりやコミュニティづくりに取り組み、新たな地域価値を共創する活動の更なる発展と地域価値共創モデルの横展開を図るため、今年度、「地域価値を共創する不動産業アワード」を創設しました。

第1回目となる今回は、地域の様々な関係者と共創し、地域課題や社会課題の解決に取り組む全国の不動産業者等から97件の応募をいただきました。

「地域価値を共創する不動産業アワードについての選定委員会」における厳正なる審査の結果、「アワード大賞」を創設・選定するとともに、6つの部門においてそれぞれ「優秀賞」を選定いたしました。また、地域づくりやコミュニティづくりに貢献してきた優れた取組についても、3件の「特別賞」を選定することといたしました。

今回は残念ながら受賞に至らなかった取組の中にも、多様な主体と共創し、地域づくりやコミュニティづくりに貢献している取組が多く見られたことから、今後も取組の更なる進化を図っていただき、次回以降にご応募いただくことを期待しております。

【地域価値を共創する不動産業アワードについての選定委員会】

池本 洋一	株式会社リクルート SUUMO リサーチセンター長
川人 ゆかり	合同会社ミラマール 代表社員
齊藤 広子	横浜市立大学国際教養学部 教授
◎中城 康彦	明海大学不動産学部 教授
丹羽 洋子	株式会社不動産流通研究所 代表取締役
真野 洋介	東京工業大学環境・社会理工学院 准教

◎は委員長
(敬称略・五十音順)

2. 受賞者（不動産・建設経済局長賞）

（1）アワード大賞

株式会社エンジョイワークス

活動名称

共感投資プラットフォーム「ハロー！RENOVATION」を活用した
空き家・遊休不動産の再生

- 活動拠点： 神奈川県鎌倉市・逗子市・葉山町
- 活動概要： 地域住民や関係人口の共感・参加を軸に、地域特性を活かしつつ、地域の空き家や遊休不動産を利活用する事業の企画から運営まで関わることで課題解決できる参加型まちづくりプラットフォーム「ハロー！RENOVATION」を運営。必要な資金は地域住民や関係人口からクラウドファンディングで調達しつつ、地方公共団体と連携してふるさと納税や助成金の仕組みを活用するとともに、地域金融機関が地域活性につながる事業への融資や出資を積極的に行えるよう、新たな事業審査の仕組みを構築するための環境づくりなどに取り組んでいます。
- 共創者： 地域住民、不動産業者、投資会社、事業会社、金融機関、地方公共団体等
- 選定理由： 地域における様々な関係者を早い段階から事業に巻き込み、空き家を活用する事業者等の育成に取り組むほか、まちづくりに不可欠な資金調達において、地方公共団体や地域金融機関等と連携してまちづくりファンドを導入・運営することで、継続的な事業を実現できていることが高く評価されました。



【The Bath & Bed Hayama(ザ バス アンド ベッド ハヤマ)】

取り残された小さな蔵を一棟貸しの宿泊施設へ再生



【島民と共につくる、おばあいの宿】

空き家をリノベーションした建物を宿泊施設として活用しながら、コミュニティの拠点とする取組

(2) 低未利用不動産の有効活用部門 優秀賞

暇と梅爺株式会社

活動名称

すみだ八島花(やつしまはな)文化創造区、
創出のための老朽築古物件リノベマッチング事業

- 活動拠点： 東京都墨田区
- 活動概要： 住み続けられる街であり、住み続けたい住民が参加できる街を目指し、地域では悩みの種の問題物件をターゲットに、地域関係者とのネットワークを構築しつつ、耐震補強改修・入居者マッチング・運営管理等のサブリース事業を実施し、これまで全20軒の老朽築古物件を再生。また、古民家活用とアートフェスティバルを融合した博覧会「すみだ向島 EXPO」を開催したり、市民でつくるコミュニティ財団(八島花文化財団)を発足させるなど、まちが一体となって地域独自の資源等を次世代へ引き継ぐために取り組んでいます。
- 共創者： 地域住民、大家、不動産業者、職人、アーティスト、商店街組合、町内会、大学機関、地方公共団体等
- 選定理由： 大家をはじめ、地主・アーティスト・クリエイター・行政・信用金庫など多様な関係者と共創し、空き家や空き地などの価値や魅力を創出・向上させたほか、財団法人設立により建物を共有財とすることで、まち全体で地域の文化やコミュニティを引き継ぐ仕組みを構築していることが高く評価されました。



【京島駅】

空き家となっていた物件をサブリースによって借上げ、アーティスト・ラン・スペースとして再生



【八島花文化財団】

まちの生活文化を継承していくことを目的に、財団法人を設立

(3) 中心市街地・農村活性化部門 優秀賞

株式会社まちづくりクリエイティブ

活動名称

MAD City プロジェクト

- 活動拠点： 千葉県松戸市
- 活動概要： MAD City プロジェクトは、JR 松戸駅前を中心とする半径 500m のエリアで行う空き家・空き店舗の利活用、起業支援、移住定住、事務所移転等のまちづくり活動。主に人材誘致と事業支援の2つに注力し、クリエイティブな活動に取り組みたい人向けにサブリース型不動産サービスを展開するとともに、起業支援や伴走支援に取り組んでいます。
- 共創者： 大家、不動産業者、建築家、アーティスト、居住支援法人、NPO 法人等
- 選定理由： 特定のエリアに絞り込んだ取組ではあるものの、地域での活動密度を高めることにより地域づくりに貢献しているほか、クリエイティブな自治区を作るという着眼点のもと、物件を活用できていない所有者と自分に適した賃貸不動産での活動を求める需要者を結びつけるために、起業支援や伴走支援を意図したサブリース方式を採用していることが高く評価されました。



【MAD マンション】

築 50 年の集合住宅の空室 15 部屋をサブリースし、DIY 改装を絡めて住居兼店舗など居住や起業の場に再生



【Mism(松戸ネオ商店会)】

個人商店の価値観や趣味的な結びつきを重視した、全長 4m と日本一の短さと 2 km 近い回遊性を持つ商店街

(4) 居住・生活支援部門 優秀賞

有限会社エステートイノウエ

活動名称

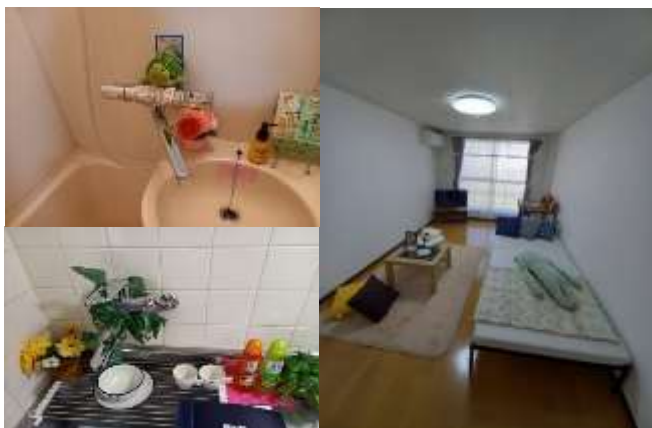
地域共生で笑顔になれる住まいの支援

- 活動拠点： 岡山県倉敷市
- 活動概要： 地域の生活支援センターからの紹介を受け、住宅確保要配慮者の部屋探しのサポートをしたことをきっかけに、入居”できる”物件ではなく入居”したい”物件を紹介し、自立・社会復帰の第一歩をサポートすることを目標に、住宅確保要配慮者への支援を実施。地域の大家や支援法人等と連携し、住みたいと思える部屋づくりや不用品のリユースを展開しています。
- 共創者： 大家、電気店、古物店、社会福祉法人、居住支援法人、地方公共団体等
- 選定理由： 残置物を入居者に提供し生活の立ち上がりを支援するなど、不動産業の枠を超えて暮らしの安心のために取り組んでいることや、利用者や大家への負担軽減を最優先に、家具家電の設置といった転居・新生活に必要な様々な準備に係るサービスを提供することで入居者が求める部屋づくりに取り組み、高い入居率やトラブル発生防止を実現していることが高く評価されました。



【残置物及び不用品の寄付・提供】

大家等からリユース可能な残置物や不用品を引き取り、社会福祉施設への寄付や入居者への提供を実施



【住みたいを叶える部屋づくり】

自ら大家となりリフォームを行うことで、住宅確保要配慮者居者が住みたいと思える部屋を実現し、満足度が向上

(5) 安全・安心部門 優秀賞

一般社団法人熊本県賃貸住宅経営者協会

活動名称

被災者支援で感じた「競争」から「共創」への転換、
そして一般社団設立による更なる活動の展開

- 活動拠点： 熊本県
- 活動概要： 熊本地震において複数の不動産業者等と協働で行った被災者支援を契機に「共創」をキーワードとして一般社団法人を設立。少子高齢化や人口減少の進展を見据え、家主・入居者それぞれが良好な関係の中で暮らし続けられる居住環境を目指し、空き家・空室対策セミナーの開催をはじめ、契約書等様式の統一化や業界団体等と連携した大規模災害時の行政事務補助などに係る活動を展開しています。
- 共創者： 大家、不動産業者、社会福祉協議会、居住支援法人、業界団体、地方公共団体等
- 選定理由： 災害がきっかけで設立された団体であるからこそ災害時の行政協力には長けており、また災害意識が風化しないよう平時から定期的に発信し、より良い仕組みづくりのための取組を続けていることが高く評価されました。



【住環境向上セミナー】

会員企業や家主に対して、空き家・空室対策ノウハウをはじめ制度改正等に係るセミナーを開催



【大規模災害時の行政事務補助】

被災者からの膨大な各種相談への対応として、業界団体等と連携してコールセンターやみなし仮設相談窓口を設置

(6) イノベーション部門 優秀賞

小田急バス株式会社 株式会社ブルースタジオ

活動名称

住居専用地域内バスターミナルのコミュニティハブ化事業

- 活動拠点： 東京都武蔵野市
- 活動概要： 駅前商業地とは異なる、住宅地ならではの生活者の個性が表出し、生活者の顔が見える暮らしを目指し、郊外住宅地の中心に位置する低利用バス運営用地を活用した、生活者が主役の地域社会のハブづくりと運営を展開。バス沿線を中心とした遊休不動産を活用し、シェアサイクルやシェアカー等の次世代モビリティサービスや MaaS アプリ「EMot」の導入をはじめ、入居者や地域生活者によるイベント運営等の取組を展開しています。
- 共創者： 入居者、地域住民、キッチンカー事業者、シェアリングサービス事業者(シェアサイクル、シェアカー、宅配ロッカー)、NPO 法人、小田急電鉄株式会社等
- 選定理由： 住居併用型小型店舗の集積によりコミュニティづくりを行うとともに、MaaS・キッチンカーアプリ・バス無料チケットサービスといった新たな技術等を活用して利便性を向上させ課題解決を図っていることが高く評価されました。



【hocco (ホッコ)】

なりわい長屋というコンセプトのもと、バスターミナルを中心とした店舗併用賃貸長屋を核とする地域コミュニティとモビリティの拠点



【日替わりで来訪するキッチンカー】

キッチンカーアプリと連携して、キッチンカーを営むチャレンジャーと hocco でなりわいを育む住民の交流機会を創出

(7) 担い手育成部門 優秀賞

一般社団法人全国古家再生推進協議会

活動名称

-『あなたの投資で社会が良くなる』-
空き家(古家)の再生で『四方よしビジネス』を全国に広める活動

- 活動拠点： 東北、関東、関西、北陸、中部、関西、九州の7エリア、27拠点
- 活動概要： 築古民家を再生し地域の防犯・活性化につなげるという理念のもと、空き家(古家)の再生を促進するため、再生主体の小規模工務店に対しては古家再生専門家としてリフォームや賃貸不動産の知識を伝授し、個人・個人事業主や経営者に対しては資産形成及び空き家再生投資を伝授し、空き家活用に特化した2種類の専門家(古家再生士®・古家再生投資プランナー®)を育成。そして、空き家・古家物件見学ツアー開催による両者のマッチングを行い、空き家再生事業を展開しています。
- 共創者： 大家、工務店、リフォーム会社、建設会社等
- 選定理由： 古家の再生活用に必要な工務店と投資家の両者を育成する受け皿として協議会を立ち上げ全国規模で活動しているほか、空き家再生や投資に関する知識を体系的にオンラインでも学習できる環境を整備し、両者を資格制度により認定・育成するとともに、継続的なマッチングの仕組みが作られていることが高く評価されました。



【空き家・古家物件見学ツアー】

手がつけられていない状態の空き家を再生専門家(古家再生士®)と一緒に現地で勉強するイベント



【古家再生投資プランナー®のセミナー】

個人・個人事業主や経営者を対象に、セミナーを開催し、空き家投資の専門家を育成

(8) 特別賞

ありあけ不動産ネット協同組合

活動名称

有明圏域定住自立圏における空き家・空き地相談窓口運営及び、
行政・企業・地域住民が連携した空き家予防啓発活動

- 活動拠点： 福岡県大牟田市・柳川市・みやま市
熊本県荒尾市・南関町・長洲町
- 活動概要： 地域の空き家問題を解決することにより、まちの魅力向上や産業振興、移住定住の促進を目指すとともに、少子高齢化等による地域への悪影響や所有者不明土地問題といった将来起こり得る可能性の高い問題を関係者で共有し、未然に防ぐ対策や啓蒙活動を展開。具体的には、有明圏域定住自立圏と連携した「空き家・空き地相談窓口」の開設や、地域住民・地元信用金庫・福祉関係者向けに空き家に係るセミナーの開催など、様々な関係者と連携しながら取り組んでいます。
- 共創者： 空き家コーディネーター、地域包括支援センター、信用金庫、地方公共団体等
- 選定理由： 空き家の予防から発生後の対処に至るまで、空き家問題の全体像と各段階における具体的な課題を詳細に把握し解決に向けて取り組んでいるほか、行政区分にとらわれることなく、実質的な生活圏としての定住自立圏の問題解決に多種多様な関係者を巻き込んで活動していることが高く評価されました。



【空き家対策会議】

暮らし人(ソフト面)の視点から、地域包括支援センター・信用金庫・行政と空き家や空き家になる前の段階での対策を模索



【相続対策セミナー】

市民向けに、司法書士を講師として迎え、遺言や生前からの相続対策のセミナーを開催

(8) 特別賞

株式会社三好不動産

活動名称

誰一人取り残さない社会へ
～「場の提供者」として地域に住まう方のお困りごと支援、
及びお困りの「場」へ学生ボランティアと共に赴き
災害復旧復興支援、こども食堂支援～

- 活動拠点： 福岡県福岡市
- 活動概要： 独居高齢者の増加やLGBTQのパートナーシップ制度が広がりを見せる社会において、場の提供者として独居高齢者の見守り体制の構築など大家及び入居者が安心して生活できる住まいを提供。また、学生ボランティアと連携した被災地復旧復興支援・こども食堂支援の実施や、大家とともに避難民への住宅無償提供を模索するなど、活動を展開しています。
- 共創者： 大家、学生、大学、医療機関、一般社団法人、NPO法人、地方公共団体等
- 選定理由： 長年にわたり広く社会課題への意識を持って全社を挙げて事業やCSR活動が展開されているとともに、子どもや大学生との関係性を持ち、幅広いコミュニティづくりに貢献していることが高く評価されました。



【九州レインボープライドへの参加】

LGBTQを始めとする全ての子どもたちが自分らしく生きていける社会の実現を目的としたパレードに2016年から社員で毎年参加



【浸水した家屋の保全活動】

学生ボランティアとともに被災地の復旧復興支援活動を実施

(8) 特別賞

千島土地株式会社

活動名称

北加賀屋クリエイティブ・ビレッジ構想 ～創造的なまちづくりへの挑戦～

- 活動拠点： 大阪府大阪市
- 活動概要： 北加賀屋クリエイティブ・ビレッジ構想は、産業の空洞化でまちの高齢化・人口減少が進む北加賀屋エリアにおいて、所有する遊休不動産を活用して創造性あふれる魅力的なまちに変えていく取組。天井走行クレーンを備えた倉庫を大型作品の保管庫へと再生したり、旅館をアーティスト・イン・レジデンスとして再生したりなど、エリア内に 40 を超える拠点を運営し、アートを軸としたまちづくりを展開しています。
- 共創者： 地域住民、地元自治会、アーティスト、教育機関、NPO 法人、地方公共団体等
- 選定理由： 既存ストックの特性を活かした活用を行い、芸術家の活動を地域浮揚につなげた先駆的な取組であるほか、アーティスト・地域住民・地元企業・行政など様々な関係者と連携したコミュニティづくりを展開していることが高く評価されました。



【MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA)】

天井走行クレーンを備えた 1,000 m²超の倉庫を大型作品の保管庫へ再生



【みんなのうえん北加賀屋】

未利用の空き地をコミュニティ農園へ再生し、クリエイターとオリジナルの農具をつくるワークショップの開催など「アート×農」をテーマに、地域住民の交流を促進